

「学校支援地域本部」では こんな活動で学校支援ボランティアの方を派遣しています。

■ 授業では	
・ 国語	読み聞かせ、読書、朗読(劇)、手話との出会い(点字・手話)、民話や方言について、百人一首、短歌・俳句、硬筆・毛筆、詩・エッセイ 等
・ 社会	安全マップづくり、むかしの道具や生活について、文化財や年中行事、ゴミの分別やリサイクル、森林資源の働き、自然災害の防止、地域の伝統工業、農業や食糧事情について、水産業・工業について、情報産業、外国文化や生活習慣の話、海外生活体験談や移住・留学生の話、青年海外協力隊等の活動体験談・戦争体験や疎開体験談 等
・ 算数(数学)	数や図形のふしぎ、数式、そろばん、ゲーム等を通して算数・数学の楽しさを学ぶ 等
・ 理科	樹木観察や野鳥、昆虫観察(昆虫の体のつくりや一生)、生き物の飼育、植物の発芽と成長、野菜等の栽培指導、季節の星座、天体観測、天気の変化(気象・天気図等)、光や磁石の性質、振り子の運動、電磁石の働き、電流の働き、電気の利用、太陽の動き、空気と水の性質、環境問題や自然保護について、人の体のつくりと動き、地層や岩石・化石、人と自然(自然保護活動)、てこの原理、生物と環境 等
・ 生活(小学校1・2年)	季節の草花や虫の話、生き物の飼育指導、地域の伝承遊び、むかしの遊び、農園作業(野菜等の栽培指導)、地域の祭り 等
・ 音楽	鍵盤ハーモニカやリコーダー演奏、木管楽器や打楽器の演奏、金管楽器や弦楽器の演奏、和太鼓やお囃子の演奏、合唱、民謡や長唄、邦楽(琴・三味線・尺八)の演奏 等
・ 図工(美術)	小刀・彫刻刀の使い方指導、版画指導、電動糸のこぎりの操作や釘の打ち方、両刃のこぎりの使い方、水彩画や油絵の鑑賞や指導 等
・ 家庭、技術家庭	運針、ミシン操作の指導・調理実習補助・栄養指導、子育て体験談、電気回路、コンピュータ操作・プログラム作成 等
・ 体育、保健	器械体操、陸上競技、水泳、球技、スキー、剣道、柔道、フォークダンス等の表現運動、ケガの防止や応急手当について、病気の予防(生活習慣病)、アルコールの害、喫煙による健康被害、薬物乱用防止 等
・ 道徳	仕事や人生における体験談等
・ 総合的な学習の時間	車椅子やアイマスク体験、パソコン・デジカメの使い方、点字や手話、リサイクルについて、ゴミと環境、ボランティア体験、生き方や職業観の講話、中学生の職場体験、外国の文化・海外生活体験談、しめ縄づくり、仙台の歴史や文化、地域の伝承、行事、食べ物 等
・ 英語・外国語活動	外国の文化について、英会話 等
・ 小1生活・学習サポーター	仙台市独自の、保護者・地域の方が小学1年生の学習や生活を補助する制度です
■ 学習環境づくり	
長期休みの体験講座、放課後学習室の運営、土曜教室(土曜塾)の運営←[放課後子ども教室等との連携活動も]	
■ 学校行事では	
学芸会の衣装や小道具・大道具づくり、行事の写真・ビデオ撮影、賞状等への児童・生徒の氏名書き、作物栽培(学校田での米づくりやさつまいも栽培)、講話、楽器演奏、各種スポーツ・レクリエーション 等	
■ クラブ活動では	
将棋、囲碁、パソコン、手芸、ギター、琴、和太鼓、押し花、パッチワーク、アレンジメントフラワー、茶道、生け花 等	
■ 部活動では	
野球、サッカー、バスケット、バレー、ソフトボール、テニス、卓球、陸上、水泳、合唱、吹奏楽、美術 等	
■ その他の支援・環境づくり支援	
通学路・河川の清掃活動、森での間伐体験、広瀬川の水質調査、生物調査やビオトープ、省エネやリサイクル、酸性雨や地球温暖化について、梅田川や身近な河川について、趣味や特技を活かしたミニ講話、交通安全指導、校外学習等の引率補助、校舎の修理、窓ガラスの清掃、遊具の塗装、飼育小屋等の整備、草刈り、樹木剪定、図書室の蔵書整理、理科室の備品整理、学校のホームページの作成 等	

学校支援地域本部については、下記までお気軽にお問い合わせください。

子どもたちの学びに地域の力を「仙台市の学校支援地域本部」平成30年3月発行
 担当：仙台市教育委員会 学校教育部 学びの連携推進室 TEL:022-214-8438 / FAX:022-264-4437

子どもたちの学びに地域の力を



学校防犯ボランティア：根白石小学校本部

書きぞめ練習の指導：中野中学校本部



新入生お母さん先生：蓮坊小路小学校本部

仙台市内の小学校、中学校では、「地域の子どもの豊かな学びと体験」の充実を図るために、たくさんの大人が学校支援ボランティアとして活躍しています。



花壇の花植えサポート：南中山小学校本部



読み聞かせ活動：折立小学校本部

仙台市の学校支援地域本部

地域とともに歩む学校 を目指して



この『ブックレット』は、本市で推進している学校支援地域本部事業について、多くの市民の方々にお知らせし、子どもたちの「豊かな学び」を支える活動へのご理解をいただき、地域ぐるみで子どもを育む体制づくりをより一層推進するために作成しております。

仙台市教育委員会

学校支援地域本部って？

学校は、これまでも地域の方々に様々な形で協力をいただきながら、学校運営や教育活動を行ってきました。学校支援地域本部は、そうした取り組みをさらに発展させて組織的なものとし、学校の求めと地域の力をマッチングさせて、より効果的に子どもを支援し、教育の充実を目指すものです。

学校の要望に応じて、地域の方々に学校教育活動の「できることを」「できる範囲で」支援していただいています。

地域につくられた学校の応援団！



学校

学校支援地域本部

学校の求めに応じて地域の力をマッチング！



支援要請

学校支援

学校支援ボランティア

学校の求めに応じ支援活動を行う地域のボランティアの方々



地域

学校の応援団となる地域の皆さんの力

本市の学校支援地域本部は、平成20年度に3本部から始まり、平成28年度には、全中学校区に1つは設置することとなり、現在設置率が7割強まで高まっています。

(平成30年3月現在)

学校支援地域本部のねらい

学校・家庭・地域が一体となって地域ぐるみで子どもを育てる体制を整えることを通じて

- ① 学校の教育活動の充実
- ② 地域住民の自己実現や多世代の交流による地域の活性化
- ③ 家庭・地域の教育力向上

を目指します。

のべ10万人を超える

「学校支援ボランティア」

学校支援ボランティア活動の効果

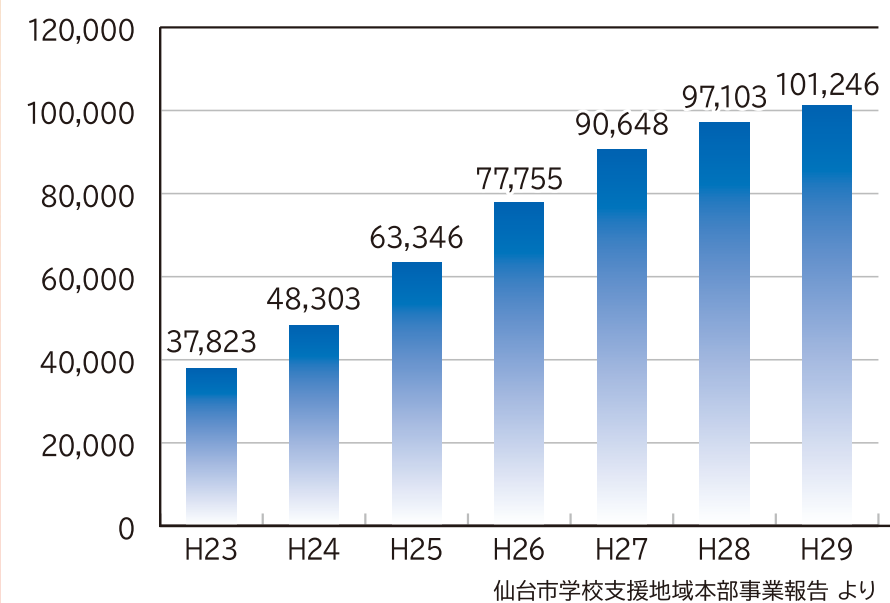
子どもたちには…

- 地域の方々と子どもたちの活動や交流の機会が増え、地域の方から認められ、励まされることにより、自己有用感、自己肯定感が高まっています。また、子どもたちの社会性やコミュニケーション能力が育まれます。
- 専門性や知識を生かした活動により、子どもたちの学習意欲を高めることや、豊かな体験が生きる力を育てることにつながります。

学校・地域には…

- 地域の方々が、学校支援ボランティア活動を通じて、子どもたちや学校への理解や共感を深めることができ、学校と地域のつながりが深まります。
- 学校や子どもたちとの活動がきっかけとなり、地域での新たなつながりづくりや、地域・商店街の活性化等、まちづくりにつながった例もあります。

(人) 学校支援ボランティア数 (のべ)



地域の方々やお父さん・お母さんたちと話ができるし、一緒に学べるから楽しいです。
(児童)



活動のサポートや温かい声かけが、子どもたちにとっても大変励みになっています。
(保護者)



普段の子どもたちの様子がわかるし、学校が身近に感じられるようになりました。
(ボランティア)



学校支援地域本部のしくみ

学校支援地域本部は、「地域教育協議会」「スーパーバイザー」「地域コーディネーター」「学校支援ボランティア」から構成され、学校と情報を共有しながら、子どもたちの学びを支える取り組みを行っています。

学校支援地域本部

- ◆ 地域教育協議会
- ◆ スーパーバイザー・地域コーディネーター
- ◆ 学校支援ボランティア

- ◆ 学校
校長・教頭
主幹教諭・教務主任
地域連携担当教員

地域教育協議会って？

本部の運営と活動を支え「地域をつなぐ」協議会

地域教育協議会では、学校支援地域本部の活動内容や学校の状況等の情報を共有した上で、必要な学校支援について話し合います。また、子どもに関わる情報交換の場にもなっています。

本部の活動の報告

スーパーバイザーや地域連携担当の先生等から説明

- * どんな活動をしているか実践の報告
- * 子どもたちの様子やボランティアの活動から成果や課題を共有



本部運営の協議

活動の報告や、学校が求める地域からの応援、本部の活動の課題等を踏まえて、地域でできる応援等の協議や意見交換を行います。



どんなメンバー？ 地域の状況に応じた人選を校長に一任

- | | | | | |
|-----------|----------|-----------|------------------|-------|
| 町内会関係者 | 民生委員児童委員 | 地域関連団体関係者 | PTA代表 | 社会学級生 |
| 市民センター 職員 | 近隣校代表 | スーパーバイザー | 校長・教頭・地域連携担当教員 等 | |

スーパーバイザー・地域コーディネーターって？

本部の活動をリードするキーマン

スーパーバイザーの役割

- ・学校支援地域本部全体調整
- ・地域コーディネーター育成
- ・ボランティア調整
- ・地域との打合せ
- ・市教委との連絡調整

地域コーディネーターの役割

- ・ボランティアの募集、依頼、とりまとめ
- ・スーパーバイザーと地域情報収集 等

スーパーバイザーはこんな人！

- * 子どもたちの笑顔のために学校と地域のかけ橋となる人
- * 学校のことをよく知っている人
- * 地域の方とのネットワークを持っている人

※ 校長から依頼され、委嘱されています。



スーパーバイザーが大切にしていること



- * 全ては子どもたちのため。関わっている先生や地域の方、保護者に感謝し、思いやりの心を持つ。
- * 関わる方の思いを大切にしながら取り組み、感謝の気持ちを伝える。子どもの豊かな学びにつなげていく。
- * サポーターや地域の方々の気持ちを忘れない。
- * 「出会ってよかった」～人とのつながり～を大切にする。

スーパーバイザーとしての思い

- * 子どもたちがこの地域で育って良かったと思える出会いを作っていきたい。(ふるさとづくり)
- * たくさんの経験を通して豊かな心を持った子どもたちに育ってほしい。
- * 笑顔で接し、「人と人との橋渡し」に。
- * 子どもたちの笑顔あふれる学校の黒子でありたい。

(スーパーバイザー連絡協議会 アンケートより)



本部の活動の充実のために スーパーバイザー 連絡協議会

年に3回、スーパーバイザーとしてのスキルアップや学校支援地域本部事業の運営に役立つ情報交換や研修を実施しています。

ある地域コーディネーターの手記より

支援に入られた方が必ず口にするのが「今の先生方って本当に大変だね」という言葉です。その方々は、子どもたちのために少しでも役に立ちたいという思いから、忙しい時間を調整して協力して下さるようになりました。

私がいちばん大切にしているのは、お互いの思いをしっかり伝えること。職員室や廊下で耳にした先生方の感謝のことはボランティアの方が子どもたちからもらった感動を、相手の方にお伝えすることです。

こうした活動を続けてきた成果なのでしょうか、登下校時に地域の方々と親しげに会話する子どもが目立つようになった気がします。実際、保護者の方々からも、地域の多くの目に見守られて育つことに感謝する声が、たびたび聞かれるようになりました。

学校支援ボランティアの活動

学校支援地域本部が窓口となり、様々な教育活動をサポートする地域の方を学校支援ボランティアとしてつないでいます。



総合的な学習の時間

「地域発見！わたしたちの西中田」

地域にお住まいのおじいちゃん、おばあちゃんに昔あそびを覚えてもらいながら交流し、地域についてお年寄り、子どもたちそれぞれが思っていることを話し合いました。

【西中田小学校本部】



防災学習「岩切防災マップ作り」

岩切消防署、婦人防火クラブ、社会学級、小中PTAの方々にご協力いただき、生徒は、自分たちの住む地域の「どこに危険があり、どこに支援の必要な方がいるのか」を調べ、考えながらマップを作成しました。震災当時は未就学児でしたが、今できることとして真剣に取り組みました。

【岩切中学校区本部】



「読み聞かせ活動」

朝の活動時に図書の貸出し手伝いと読み聞かせを行っています。読み聞かせボランティアの協力で全学年で活動。また、業間休みと昼休みには、ごごと列車（読み聞かせボランティアサークル）の読み聞かせやパネルシアター、折り紙あそびもしています。

【七北田小学校本部】



「人生の先輩に学ぶ会」

市民センターのボランティアの方に講師をお願いし「いろいろな職業」に関するパネルディスカッションを行いました。生徒は様々な角度からの話を聞いて職業についての興味・関心を深めることができました。

【宮城野中学校本部】



地域で「弟子入り体験活動」

学区内の店舗や施設の協力で、「弟子入り」と称して仕事を体験。事前学習で「お店はお客様のためにある。」この言葉とともに「弟子入りの心がまえ」を学んでからの活動でした。当日は、安全の見守りも兼ねて、多くの学校支援ボランティアに引率でも協力をいただきました。

【立町小学校本部】



小1生活・学習サポーターさんへの「感謝の会」

4月の入学式翌日から秋休みまでの約半年間、「お母さん先生」が1年生と一緒に活動しました。ピンクのエプロンを身に付け、登校後から下校前まで、1年生が小学校生活に必要なルールを身に付けられるようにサポートしました。

【大和小学校本部】



校外学習の「安全見守り」

安全見守りは、町探検や、稲作りの学習等、各学年の校外学習のスタッフとして活動しています。校外用に、ピンク色の名札を作ってもらったところ、子どもたちや地域の方々を目にとまり、たくさん声をかけてもらい、地域でのつながりが広がっています。

【七郷小学校本部】



「新策川美化活動」

流域にある13の町内会で構成されている「新策川環境美化活動協議会」では、「新策川」の環境を守るために、年2回の美化活動を実施しています。この活動に、学校支援地域本部と学校が連携し、富沢中学校から多くの生徒が地域活動ボランティアとして参加しました。

【富沢中学校本部】



「学校の森ワークショップ」

学校の森ボランティアの皆さんと、権現森自然研究会の方々の協力で、学校の森ワークショップを開催しました。

夏には木のネームプレート作り、秋には巣箱作りや権現森山で採取した落ち葉を画用紙に貼り、絵を描き楽しんだ後、地域の方が焼いてくれた焼き芋をみんなでいただき心も体も温まりました。【南吉成中学校区本部】



「伝統芸能の伝承活動

～無形文化財 大沢の田植踊」

毎年大沢田植踊保存会の皆様から、4・5年生の児童に田植踊を教えていただき、参観日に発表会を行っています。

地域の無形文化財「大沢の田植踊」を伝承することで、地域に対する関心を高め、「地域を愛する心情」が育まれています。

【泉ヶ丘小学校本部】



「資料室整備活動」

地域の方々から提供いただいた神棚や昔の農機具などを、学習教材として有効に活用するために、地域の方々に修理していただきました。また、保管場所を民俗資料室として整備を行い、社会科学の資料として活用できる教室にしました。

【将監小学校本部】